

## 華僑・華人の実態認識を

Toshi  
'11.02.20  
SUGITA

甲南大学教授 杉田俊明

今日3日は春節（旧正月）である。中国本土や香港、台湾などの人々にとっては、新年を迎える日なので、まずはここでお祝いを申し上げる。

ところで、春節を祝うのは、世界に広く居住し、ボーダレス的にビジネスを展開している華僑・華人の方々も同様である。ルーツである故郷を思い、離れている親族と精神的に団らんするひと時でもある。

華僑・華人はその勤勉さや商才により、異邦にいながらビジ

ネスで成功している人が多い。特にその人脈ネットワークには独特なものがある。約4800万人といわれる彼らは世界に散在し、企業組織は相対的に小規模だが、結束の強いビジネスネットワークを形成し、巨大な経済力を有する。

そのために、中国当局は一貫して華僑・華人を重要視し、優遇措置を講じてその経済力を経済の勃興に利用してきた。

政治や外交においても同様である。「以僑為橋」、つまり、

華僑・華人を橋として利用し中国と世界を結ぼうとするのが中国の明確なポリシーである。

日本でも古くから多くの華僑・華人が活躍されている。日本企業も、中国の改革開放以前の「友好貿易」の時代から彼らと組んで中国と貿易をしていたのである。中国への直接投資においても、世界中で活躍する華僑・華人とともに、多くの現地法人を設立してきた。諸交渉や現地経営、物流など、彼らは日本人にない強みを発揮し、深く中

国市場に食い込みながら、中国ビジネスをグローバルビジネスに広げつつある。

つまり、中国ビジネスに取り組む以上、本土だけではなく、華僑・華人にも関心を持ち、ビジネスパートナーとして、その実態をより正確に把握しておく必要がある。そういう意味において、春節は、世界中の華僑・華人の賑わいぶりを見ながら、より広い視野で中国ビジネスを

考えるひと時でもある。

ちなみに、華僑とは、中国以外に定住する中国の国籍を持つ人。華人とは、中国以外に居住し、中華あるいは中華民族の血統を持つが、中国の国籍を持たない人を指している。そして、華僑・華人の子孫後世は、華裔である。中国を含む世界中にいる中国系の人々を指す時は「全球華人」という。この「華人」は広義として使われているが、中国以外に居住する中国系の人々を指す時は「海外華人」という。より正確にそれぞれを指す時は、「海外華僑華人」という。

